

九条北小学校 校長室だより

NO.43 令和4年3月14日



3月14日(月)、6年生にとっては、九条北小学校最後の児童朝会です。集会担当の先生からは、ロッカーの中を少しずつ整理していきましょうと伝えています。



★「東日本大震災」の発生から11年!★

＊児童朝会では、2つの話をしました。

先週の金曜日の3月11日、地震と津波で大きな被害の出た「東日本大震災」の発生からちょうど11年目を迎えました。

その節目に、こんなニュースがありました。「**岩手県釜石市の海岸で、鎮魂と平和を祈る明かりが灯されました。**」鎮魂とは、亡くなった方の魂をなぐさめることです。明かりが灯されたのは、岩手県釜石市の根浜海岸近くにある旅館の裏山で、竹でできた灯籠から漏れるやさしくほのかな明かりが見られたそうです。

実は、この裏山は、東日本大震災で津波が押し寄せた時に、近くに住む住民や旅館の従業員のみなさんが、この山に逃げて、「九死に一生を得た」つまり命が助かった場所です。

もう一つ、海岸の防波堤にも灯りがともされたそうです。その灯りでは、**ウクライナ語で「心はひとつ」「平和」**の文字が浮かび上がるようになっていたそうです。「**今年の3月11日は大震災を思うだけでなく、ウクライナをはじめ、争いが続く世界に一日も早く平和が訪れることを全国で祈る日にしたい**」と願って灯された灯りだといいます。

みなさんも、様々なニュースで知っていると思いますが、**私達も「命の大切さ」を考える機会としたいですね。**

★ 1年間お世話になった感謝の気持ちを ★



さて、話が変わりますが、6年生のみなさんと一緒に過ごせるのは、今日を入れてあと4日になりました。今週末には、6年生の皆さんは、この九条北小学校を卒業します。

みなさん、気づいていますか。2月末から3月にかけて、管理作業員さんが、講堂の床にワックスをかけてきれいにしたり、学校の窓を順番にきれいにしてくださっています。みなさんも見ているはずです。これは、みなさんが、もうすぐ1年間を終え、新しく新学期を迎えるときに、気持ちよく・・・という気持ちと、何よりも6年生に、卒業の日をきれいな校舎で迎えてほしいとの思いで作業してくださっています。窓だけでなく、日ごろから、みなさんが安全に楽しく過ごせるように、いろいろ取り組んでくださいますよね。機会を見つけて、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えてみましょう。

また、みなさん自身でも、**1年間お世話になった教室・机やイスなど、最後はきれいにして「1年間お世話になった感謝の気持ち」を表しましょう。**

★「地域子ども会」で登校班の新体制が決まりました!★

先日の「地域子ども会」で登校班の新体制が決まりました。班長も6年生から5年生に引き継がれ、次の日からは新班長のもと全校児童が登校しています。新年度には、新1年生も加えての登校になります。5年生のみなさん、よろしくお願ひします。

